

医療の質・安全学会誌 第5巻第1号

目次

【原著】

医療事故の全国の発生頻度の推計に関する検討 5

医療事故情報収集等事業の円滑な実施を行ううえで、全国における医療事故事例発生状況について全国調査を行った結果を報告する。

堀口 裕正^{1) 2)} 後 信²⁾ 森脇 睦子²⁾ 坂井 浩美²⁾ 野本 亀久雄²⁾

- 1) 東京大学医学系研究科 医療経営政策学講座
- 2) 財団法人 日本医療機能評価機構

患者の意思決定に影響を及ぼす人物の役割に対する医療者、 患者と家族の意識に関する研究 12

－第1報 看護師へのアンケート調査報告－

医療者が効果的な介入を行うために看護師へアンケート調査を行った。その結果、看護師の多くはキーパーソンの情報収集は重要と考え、入院時に行っていたことが判明した。

菅野 友紀¹⁾ 比良 美季²⁾ 副島 和彦¹⁾

- 1) 昭和大学大学院 保健医療学研究科
- 2) 中島内科小児科医院

大学病院における転倒アセスメントスコアの改訂と予測能の比較 22

単純で予測能が同等であるアセスメントスコアの作成を試みた。単純化により軽減された労力を他の患者ケアに配分することで医療安全に貢献する可能性がある。

田中 武一^{1) 2)} 森本 剛^{1) 3)} 足立 由起^{1) 4)} 雛田 知子⁵⁾
長尾 能雅^{1) 4)} 坪山 直生^{1) 2)} 市橋 則明²⁾

- 1) 京都大学医学部附属病院内転倒・転落事故防止委員会
- 2) 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻運動機能開発学分野
- 3) 京都大学大学院医学研究科医学教育推進センター
- 4) 京都大学医学部附属病院医療安全管理室
- 5) 京都大学医学部附属病院看護部

【第4回 医療の質安全学会 学術集会報告】

第3回 “新しい医療のかたち” 受賞・活動報告

講評・医療の文化を変えつつあるパイオニアたち 32

大熊由紀子

国際医療福祉大学大学院教授 医療福祉ジャーナリズム分野責任者

全社連「医療有害事象・対応指針」における真実説明と実例 33

渡邊 両治

社団法人全国社会保険協会連合会 事業部 専門指導職（医療安全対策担当）

「真実説明指針」との出会いと実践.....	37
-----------------------	----

埴岡 健一

医療事故：真実説明・謝罪プロジェクトリーダー

医療と地域の連携の取り組み～在宅へ戻れない人をどこで見るか～ 「かあさんの家」の実践	39
---	----

市原 美穂

特定非営利活動法人ホームホスピス理事長

「ベストポスター賞」受賞報告

看護職者の医療事故当事者経験に伴う心理的ダメージと その影響要因の検討	41
--	----

林 千加子¹⁾ 鈴木 千絵子²⁾ 山本 奈奈³⁾ 横手 芳恵²⁾

1) 川崎医療短期大学 看護科

2) 岡山県立大学 保健福祉学部 看護学科

3) 岡山県立大学大学院 保健福祉学研究科

輸液ポンプとシリンジポンプの組み合わせ使用による 注射薬の注入精度の検討	47
---	----

岩瀬 利康¹⁾ 森実 朋子¹⁾ 外山 智章¹⁾ 長岡 匠¹⁾

越川 千秋¹⁾ 河野 龍太郎²⁾ 松本 道子³⁾

1) 獨協医科大学病院 薬剤部

2) 自治医科大学医学部 メディカルシミュレーションセンター

「ベストプラクティス賞」受賞報告

ユビキタスを利用した、輸液ポンプとシリンジポンプの 警報情報利用の試み	58
--	----

江守 直美¹⁾ 伊藤 幸子¹⁾ 大北 美恵子¹⁾ 笠松 眞吾²⁾

吉野 孝博³⁾ 山下 芳範²⁾ 井隼 彰夫⁴⁾

1) 福井大学医学部附属病院 看護部

2) 福井大学医学部 医療情報部

3) 福井大学医学部附属病院 医療サービス課

4) 福井大学医学部 医療倫理・医療安全学

委託職員向け「医療安全ポケットマニュアル」(愛称【安全ポケット】)の 試作と活用方法の検討.....	64
---	----

高橋 知子¹⁾²⁾ 本山 和子¹⁾ 山内 桂子¹⁾

1) 東京海上日動メディカルサービス株式会社 メディカルリスクマネジメント室

2) 東京大学大学院医学系研究科 医療安全管理学講座

【医療安全共同行動から：参考になる取り組み事例の紹介】

目標 3a：危険手技の安全な実施 経鼻栄養チューブ挿入時の位置の確認の徹底.....	69
---	----

山元 恵子

春日部市立病院 副院長・看護部長 (認定看護管理者)

行動目標 6：急変時の迅速対応 Rapid Response Systems (RRS)	73
---	----

浅香 えみ子

獨協医科大学越谷病院 副看護部長

【連載】

看護師のための文章ノート 第5回 事実と意見	78
------------------------------	----

井部 俊子

聖路加看護大学学長

【書評】

『ヒューマンエラーは裁けるか』	81
-----------------------	----

〈評者〉中島 和江

大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部

【資料】

患者安全および質改善に係る法律（2005年）	83
------------------------------	----

公法 109-4 第 109 合衆国連邦議会

PATIENT SAFETY AND QUALITY IMPROVEMENT ACT OF 2005

Public Law 109-41, 109th Congress

翻訳 吉本 晋一郎¹⁾ 監訳 井上 清成²⁾ 吉成 紗恵²⁾

提供 「医療の質・安全を確保する新しい医療システムを実現するための戦略に関する研究」
(厚労科研費 H18- 医療 - 一般 -005)

1) 佐久総合病院学術顧問)

2) 井上法律事務所弁護士

医療の質・安全学会 会則 93

医療の質・安全学会 役員および評議員 97

医療の質・安全学会 入会のご案内 99

「医療の質・安全学会誌」投稿規定 102

「医療の質・安全学会誌」執筆要項 106

「医療の質・安全学会誌」定期購読のご案内 111

編集後記 113